

# 滋賀大学経済学部・データサイエンス学部後援会だより

発行／彦根市馬場一丁目1番1号 滋賀大学経済学部・データサイエンス学部後援会 発行責任者／貝吹行則

URL: <https://www.econ.shiga-u.ac.jp/supporters.html>

目次	後援会会長、学長、学部長等挨拶	1～2	進学先・就職先一覧	10～11
	入学式	3	資格取得等報奨制度	12
次	学生活動だより	4	会計スペシャリスト育成支援制度受給者の声	13～16
	入学状況	5	後援会総会・令和7年度決算（収支報告）	17
	大学紹介	6～7	令和8年度予算・役員名簿・編集後記	18
	就職活動と支援・就職状況	8～9	令和8年度学年暦・行事	19～20

会長挨拶  
後援会会長 貝吹行則



今年度から後援会会長を務めさせていただきます。貝吹行則です。子供が滋賀大学にご縁頂いたので後援会に参加させて頂きました。私自身、今まで仕事に重心を置いていたため、長男の学生生活としては最後の機会であるため成長をみながら本会の活動機会を頂いております。

後援会規約には「本会は、会員相互の連絡親睦をはかり、両学部の事業を援助し、教育研究目的の達成に資することを目的とする。」とあります。本目的を見失わず、後援会として「滋賀大で学んでよかった」と笑顔で卒業できるような、奨学金や環境整備などを通じて、全力で背中を押す存在でありたいと考えています。

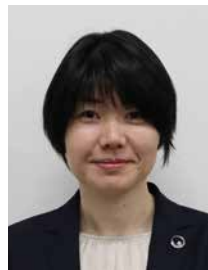
学長挨拶  
竹村彰通



コロナ禍もおさまり、今年度の入学式もすべての新入生が一堂に集うことができました。キャンパスもにぎわっています。昨年4月には「イニシアティブ棟」が竣工し、今年末に

は従前の大合併教室と同様の教室を1階部分とする3階建ての「データサイエンスみらい創造館」が竣工します。世界はますます不安定化し日本の将来も心配な状況ですが、彦根キャンパスでは学生が安心してのびのびと成長できる環境を整えて行きたいと考えています。保護者の方々もぜひ一度キャンパスにお越しください。

経済学部長挨拶  
能登真規子



日頃より滋賀大学経済学部の教育研究に温かいご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

キャンパスには新年度の活気が広がっております。オリエンテーションでは、新入生に「自分の世界を広げること」と「自分を大切にすること」の2つをお伝えしました。この彦根の地で、さらなる成長を遂げられることを願っております。

社会情勢の変化に伴い大学の役割の再定義が進む中、本学部では、入学後に幅広く学びながら自分に合った分野を見極め、進路を選択していく教育を重視しています。

今後ともご支援のほどよろしくお願ひ申し上げます。

データサイエンス学部長挨拶

市川治  
データサイエンス学部長の市川治で



最近の生成AIの進化は凄まじいものがあります。人間の能力を超えていると実感することが多くなりました。教員の間でも「こんなことができるようになった」という情報交換が頻繁に行われています。これからの数年で、仕事の進め方が大きく変わります。社会の仕組みも変わります。大学が行う教育の内容も、そして教えるメソッドも、成績評価の仕組みも変わるでしょう。

生成AI時代に生き残る学部はどこか？やはりデータサイエンス学部だと思います。これからの社会の変化をリードしていきます。

大学院経済学研究科長挨拶  
吉田裕司

経済学研究科長を拝命した吉田裕司です。以前にも、リスク研究センター長として後援会からは多大なるご支援を頂きましてありがとうございます。日本経済の競争力低下と日本の大学研究力の低下が嘆かれますが、この二つは関係の無いことではありません。全国国立大学の一角を担う経済学研究科として、滋賀大学経済学部生の大学院進学を応援して、日本経済の再活性化に貢献したいと考えています。

学部4年間+大学院2年間の計6年間ではなく、学士・修士を5年間で修了できるコースを推し進めていきますので、ご支援をお願いいたします。

大学院データサイエンス  
研究科長挨拶

飯山 将晃

平素より本研究科の教育・研究活動にご支援を賜り、誠にありがとうございます。一昨年、昨年に引き続き研究科長を務めさせて頂くことになりました。

生成AIの発展により、大学の教育・研究活動も大きな変革の時に迎えています。本学でも昨年度よりChatGPT、EDUを導入し、生成AIを「相棒」として活用する教育に取り組んでいます。本年度はAI系の講義も新たに開講し、AI時代のデータサイエンスの育成に力を入れていきます。本年度も引き続きご指導・ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

経済学部副学部長挨拶  
総務・企画担当

竹村 幸祐

平素より滋賀大学彦根キャンパスにご支援をいただいておりますこと、心より御礼申し上げます。学生たちの旺盛な好奇心と熱意に対応できるように、教職員一同努めてまいります。総務・企画担当として、学生たちの実りある大学生活と今後の社会での活躍に貢献すべく、微力を尽くして参ります。

学務・学生生活担当

宮西 賢次

平素より滋賀大学経済学部の教育・研究に多大なるご支援を賜り、心より御礼申し上げます。経済学部は、グローバル・スペシャリスト育

成を目標に掲げ、革新的な教育プログラムを導入を通じて人財育成に力を注いでまいりました。予算とリソースの制約が年々厳しさを増しておりますが、社会的評価の高い教育環境の実現を目指します。

入試・広報担当

富田 健一

後援会の皆様の平素よりのご協力に深く感謝申し上げます。今年度経済学部入試と広報を担当いたします。少子化により学生の確保が難しい昨今ですが、受験生に寄り添った多様な入試、そして本学部の魅力をしっかりと広報することで、たくさんの方に人材を迎え入れられるよう尽力して参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

大学院経済学研究科副研究科長挨拶

宗野 隆俊

変化が大きく、かつ速く、生涯にわたる学びが必要な時代と言われます。このような時代に、大学院の役割はますます大きくなるものと思えます。本研究科においても、経営分析学専攻の設置、5年一貫教育の導入など、新しい試みが続いています。私も、大学院の意義をさらに高められるよう、努めてまいります。

データサイエンス学部副学部長挨拶  
総務・企画担当

佐藤 健一

4年目になります。今年度はオープンキャンパスへの学部教員の参加や派

遣講師など、高大接続の取り組みを積極的に進めてまいります。後援会のご支援による設備・報奨制度が学生の学びを支えていることを日々実感しております。役員の皆様との意見交換を楽しみにしております。本年度もよろしくお願いたします。

学務・学生生活担当

松井 秀俊

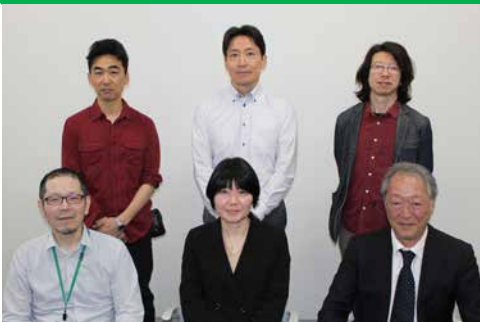
昨年度に引き続き副学部長(学務担当)を務めさせていただきます。昨年度は、今年度新たに開講される生成AIを活用する講義の策定や、ベストティーチャー賞の新設などの業務に携わりました。時代が目まぐるしく変化するこの状況において、社会で活躍できる人材を育成できる環境の改善を目指します。

入試・広報担当

佐藤 正昭

今年度、入試担当を拝命しております。昨年度は、学部については、

経済学部



後列：竹村副学部長 吉田研究科長 富田副学部長  
前列：宗野副研究科長 能登学部長 宮西副学部長

データサイエンス学部



後列：村松副研究科長 松井副学部長  
佐藤健一副学部長 佐藤正昭副学部長(左から順に)  
前列：飯山研究科長 市川学部長 深谷副センター長

前期後期合計した志願者数が減少することもなく、無事に入学試験を実施でき、大学院についても、問題なく実施できました。今年度も、気を緩めることなくしっかりと入試業務を遂行していきたいと考えております。ご支援よろしくお願申し上げます。

大学院データサイエンス研究科  
副研究科長挨拶

村松 千左子

博士前期課程の定員が80名に増えてから2年目となり、教員も増え、非常に活気づいております。本年度より5科目が新規開講され、多様なバックグラウンドを持つ学生のサポートをより強化し、ChatGPT、Eduの活用や、就職活動にも役立つ実践的な講義も増やしていきます。引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

令和8年度入学式

4月6日、大津市びわ湖ホールにて令和8年度滋賀大学入学式を挙行しました。今年度は教育学部237名、経済学部444名、データサイエンス学部161名、大学院教育学研究科専門職学位課程29名、大学院経済学研究科博士前期課程28名、大学院経済学研究科博士後期課程2名、大学院データサイエンス研究科博士前期課程74名、大学院データサイエンス研究科博士後期課程4名、特別支援教育専攻科9名の



竹村学長からの式辞

計988名が新たな学生生活をスタートしました。



会場の様子

今年度の式典も、全入学生を対象に一斉に開催しました。全ての学部・大学院・専攻科の新生が一堂に会することで、より一体感を感じる式となりました。また、出席できなかった方に向けて式典のライブ配信を行いました。多くの保護者・来賓の皆さまにご来場いただき、晴れの日と共に慶びいただきました。

式典は、新入学生代表による入学生宣誓から始まり、来賓の祝辞、在学生による歓迎の辞、役職員の紹介の順で進行了しました。竹村学長からは「世界は未曾有の変化に見舞われて



入学生宣誓

います。しかし、大きな変化の時代は、不安の時代であるとともに、可能性の開けた時代です。高校までの学びでは、大学入試への準備もあり、皆さんは正解のある問題を解き、正解を早く見つけるような訓練をしてきたと思います。しかしながら、未来がどうなるかについて唯一の正しい答えがあるわけではありません。大学での学びを通じ、あり得るさまざまな未来の中から、皆さんが未来を選びとっていくのです。滋賀大学の中期目標のキーワードは未来創生大学です。皆さんが滋賀大学での学びを通じて、未来を切り拓く人材に育ってくれることを願っています。

ます。」と式辞がありました。

また、在学生代表からは「大学生活では、皆さんの自由が与えられます。その自由の中で、考え、模索し、皆さんのことに挑戦し、ぜひ自分だけの夢や、やりたいことを見つけてほしいと思います。挑戦の中では、きっと失敗もあるでしょう。しかし、その一つ一つの経験こそが、皆さんを皆さんらしく成長させてくれるはずです。皆さんのこれからの大学生活が、実り多いものになることを願っています。」と歓迎の辞が述べられました。

新入生の皆さんが今後、本学で勉学に励み、充実した大学生活を送ることを願っています。



在学生代表による歓迎の辞

学生活動だより

ChatGPTでアプリ開発に挑戦  
「ChatGPT」

「ハッカソン2025」開催

国内大学で初めてChatGPT Eduを導入した滋賀大学では、2月6日、生成AIを活用した学生によるアプリ開発イベント「ChatGPTハッカソン2025」を開催しました。本イベントは、ChatGPTのプロンプト設計力やコード生成機能を



ChatGPTを活用して開発したアプリについて発表する学生

用い、大学生活や学業、学内業務に役立つWindowsアプリ開発に挑戦することを目的としています。当日は、データサイエンス学部・研究科に加え、経済学部・研究科の学生も参加し、学部・研究科の枠を超えた取り組みとなりました。

今回のテーマは「課題を解決するアプリをChatGPTで作る」。ChatGPTを単なる補助ツールとして使うのではなく、対話を通してアイデア創出から設計・開発まで行うプロセスを重視し、生成AI時代に求められる実践的な活用力を養うことを狙いました。

当日は、プロンプト設計重視の部に9人と1チーム、CodeX活用の部に1人の計11件の発表が行われました。学生たちは、専門分野の異なる視点を活かしながら生成AIとの対話を重ね、プロンプト設計やコード生成を工夫し、実際に動作するWindowsアプリを完成させ、スクリーンを用いたデモンストレーションや質疑応答を行いました。会場ではアイデアの独自性・実用性・発想の面白さなど多角的な観点から活発な議論が交わされました。

審査の結果、以下の作品・参加者が表彰されました。



参加者で記念撮影

- 最優秀賞 岡田大輝さん  
(データサイエンス学部3年)  
「スクリーンショットを自動命名するWindowsアプリ」
- 優秀賞① 八柳祐成さん  
(データサイエンス学部1年)  
「Kamomeal-学食ログを偏りまで見える化」
- 優秀賞② 小濱賢史さん  
(データサイエンス研究科1年)  
「SULMS資料自動整理アプリ」
- 優秀賞③ 三田村光明さん (経済学部2年)・谷口巴菜さん (データサイエンス学部4年) チーム  
「ファイルリネームツール」

今回のイベントを通じて、学生たちは生成AIを活用したアプリ開発の実践的な経験を得るとともに、ChatGPTの持つ可能性や課題への理解を深めました。滋賀大学では、今後も生成AI時代に対応した人材育成を目指し、AIを活用した教育・学習環境の充実に取り組んでいきます。



発表後の質疑応答では活発な意見交換が行われました

# 令和8年度 入学状況

### 入学試験状況

学部名	定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
経済学部 <small>(※1)</small>	410	2,396	1,366	499	425
3年次編入 <small>(※2)</small>	15	59	59	25	18
データサイエンス学部	150	667	457	177	160
3年次編入	5	4	4	3	1

### 【大学院】

研究科名	定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
経済学研究科					
博士前期課程	32	61	56	34	28
博士後期課程	3	2	2	2	2
データサイエンス研究科					
博士前期課程	80	89	89	82	74
博士後期課程	3	4	4	4	4

※1 政府派遣留学生を含まない  
 ※2 臺中科技大学の3年次編入を含む

### 滋賀大学入学者数一覧

経済学部	443		
データサイエンス学部	161		
教育学部	237		
大学院	経済学研究科	博士前期課程	28
		博士後期課程	2
	データサイエンス研究科	博士前期課程	74
		博士後期課程	4
教育学研究科	教職大学院	29	
特別支援教育専攻科	9		
入学者合計		987	

### 都道府県別入学者数(3年次編入を除く)

#### 【経済学部】

北海道	1	0.2%	石川県	14	3.3%	兵庫県	28	6.6%	高知県	3	0.7%
宮城県	3	0.7%	福井県	12	2.8%	奈良県	11	2.6%	福岡県	5	1.2%
秋田県	1	0.2%	山梨県	2	0.5%	和歌山県	4	0.9%	佐賀県	1	0.2%
山形県	1	0.2%	長野県	2	0.5%	鳥取県	5	1.2%	長崎県	3	0.7%
茨城県	1	0.2%	岐阜県	36	8.5%	島根県	2	0.5%	大分県	1	0.2%
群馬県	2	0.5%	静岡県	11	2.6%	岡山県	18	4.2%	宮崎県	2	0.5%
埼玉県	2	0.5%	愛知県	62	14.6%	広島県	8	1.9%	鹿児島県	4	0.9%
東京都	8	1.9%	三重県	17	4.0%	山口県	2	0.5%	沖縄県	4	0.9%
神奈川県	1	0.2%	滋賀県	59	13.9%	徳島県	3	0.7%	高卒認定	1	0.2%
新潟県	1	0.2%	京都府	35	8.2%	香川県	3	0.7%	留学生	9	2.1%
富山県	4	0.9%	大阪府	24	5.6%	愛媛県	9	2.1%	合計	425	100.0%

#### 【データサイエンス学部】

北海道	1	0.6%	福井県	4	2.5%	大阪府	14	8.8%	愛媛県	3	1.9%
宮城県	1	0.6%	山梨県	2	1.3%	兵庫県	10	6.3%	福岡県	2	1.3%
茨城県	3	1.9%	長野県	3	1.9%	奈良県	2	1.3%	佐賀県	2	1.3%
埼玉県	1	0.6%	岐阜県	10	6.3%	島根県	2	1.3%	大分県	1	0.6%
東京都	3	1.9%	静岡県	8	5.0%	岡山県	5	3.1%	鹿児島県	1	0.6%
神奈川県	1	0.6%	愛知県	17	10.6%	広島県	3	1.9%	沖縄県	1	0.6%
新潟県	2	1.3%	三重県	3	1.9%	山口県	2	1.3%			
富山県	1	0.6%	滋賀県	27	16.9%	徳島県	1	0.6%			
石川県	2	1.3%	京都府	21	13.1%	香川県	1	0.6%	合計	160	100.0%

# 大学紹介

## 経済学部の現況

### 経済学部長

能登真規子

### ● 入学者選抜の状況

本年度は、2023年度に実施した学部改組の完成年度に当たります。従来の5学科を1学科の総合経済学科に統合しましたが、志願者数・倍率ともに、従来と同様の高い水準を維持しています。一般選抜（前期日程、後期日程）を主軸としつつ、総合型選抜、学校推薦型選抜、私費外国人留学生選抜、社会人選抜、3年次編入学試験により、多様な背景をもつ学生が集い、学びの広がりにつながっています。

### ● レイトスペシャライゼーション

昨年度の秋に、2回目の専攻選択を実施しました。入学時アンケートとの比較から、入学後の学びを通じて関心が変化し、新たな分野を選択する学生も見られます。学びの中で

各自が専門分野を見出すという本制度の趣旨が活かされているものと受け止めています。

また、専攻にかかわらず、分野横断的な学びも可能です。柔軟な科目履修により、専攻の枠に縛られない視野の広がりを期待しています。

### ● 大学院経済学研究科

大学院教育の充実は、社会的に強く求められています。自ら考え、判断する力を備えた人材なくして、新しい時代を切り拓くことはできません。就職活動の開始時期の早期化の影響もあり、学生各人の能力を存分に引き出すには、学部教育だけでは十分ではありません。

本学経済学研究科の定員は、現在、博士前期課程32名（経済学専攻13名、経営学専攻13名、経営分析学専攻6名）、博士後期課程3名ですが、今後は、経済学部・大学院経済学研究科（博士前期課程）5年一貫教育プログラム（学部の成績優秀者は修士号取得までを1年短縮できます）の周知を図る等、学部卒業後の大学院進学を一層促進していく予定です。

2024年に発足した経営分析学専攻（MBAN）は、企業からの派遣社会人を中心に社会的にも高い関心を集めており、データ分析と経営学・経済学のいずれにも通じた、文理融合の高度な専門性を磨きます。

また、2024年度からは、「ビジネス・インサイト養成プログラム



「ム」を開始し、英語による講義科目や国際連携実践科目を中心に、社会科学方法論も加えた教育を展開しています。台湾の台中科技大学や米国のサンノゼ州立大学（カリフォルニア州）での研修も充実しています。

### ● 附属史料館

経済学部附属史料館で、近江商人研究が開始されてから百年を迎えます。地域史料を活かして総合的な近江商人研究を推進しています。春季・秋季には特別展も開催しています。

### ● 経済経営研究所

総合研究棟（士魂商才館）に研究室を置き、本学部教員の多様な研究を俯瞰する役割を担っています。

先端研究セミナー、ジョイントセミナー（データサイエンス・AIIイノベーション）研究推進センターとの共催）等では、学部生も院生も教員も分け隔てなく、最先端の研究内容に触れる機会を提供しています。

## データサイエンス学部の現況

データサイエンス学部長

市川 治

新学期を迎えたキャンパスには、今年も新入生の活気が満ちています。定員増加後の体制も定着し、教室やラーニングコモンズ、サークル活動の場において、学生たちがそれぞれの関心を持ち寄りながら交流する姿が日常の風景となりました。落ち着きと賑わいが共存するこの雰囲気は、本学部の現在の充実ぶりを象徴しているように感じられます。

本学部では、「どのような種類のデータにも対応できるデータサイエンスの育成」を重要な目標に掲げています。その実現に向けて、教育内容のさらなる多様化を進めてきました。今年度は新たに、「犯罪予防と社会安全政策」「マーケティング・サイエンス」「社会調査特論A」「公的統計応用演習Ⅰ・Ⅱ」といった講義を開講し、社会課題に直結する多様なデータを扱う機会を拡充しました。これに加え、昨年度からは「ゲームプログラミング入門」「ネットワーク分析」「創薬・化学情報学」など、分野横断的な科目も

整備されており、学生は自らの関心に応じて幅広い領域に触れることができます。また、「気象データアナリスト育成講座」の開設により、専門性の高い実務分野への接続も一層強化されました。

こうした教育の広がりには、講義にとどまらず、学生の主体的な活動にも波及しています。ゼミ活動の一環として、メディアアート分野の国際学会（査読付き）で発表を行った学部学生も現れました。データサイエンスの対象は、従来の数値データやテキストデータに加え、アートのような感性に関わる領域にも拡張しつつあり、本学部の教育が新たな可能性を切り拓いていることを示しています。

さらに近年の重要な変化として、生成AIの活用能力の育成が挙げられます。今年度は「生成AIによるデータ分析」および「生成AI活用演習」を新規に開設し、生成AIを利用して、分析やプログラム作成を行うという実践力の養成を行います。学生が生成AIを使いこなす力を身につけることは、今後ますます重要になると考えています。

教育制度の面でも改善を進めています。昨年度秋学期には、「ゼミ配属において「安定マッチング問題」に基づく新しい選択方式を導入しました。学生は第1希望から第6希望までを申請し、GPAを基準に配属を決定する仕組みです。この方式により、第1希望がかなわなかった場合でも第2希望での配属可能性が高まり、結果として大多数の学生が第2希望までに配属されるという、満足度の高い結果となりました。学生の納得感と学修意欲の向上につながる取り組みとして、今後も改善を重ねてまいります。

本学部は、教育内容の充実とともに、学生一人ひとりの多様な関心に応える環境づくりを進めております。こうした取り組みを支えていただいているのは、保護者の皆様をはじめとする多くの方々のご理解とご協力にほかなりません。今後とも、本学部の教育・研究活動に対し、変わらぬご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



## 就職支援体制

令和8年4月から就職支援室キャリアコーディネーター体制を1名から2名へ増員しました。今後は経済学部・経済学研究科の就職支援を教育・学生支援機構特任准教授の鴨谷香が、データサイエンス学部・データサイエンス研究科の就職支援を教育・学生支援機構特別招聘教授入江直樹が担当し、彦根キャンパスにおける就職支援体制の更なる充実と強化に努めて参ります。

## 教育・学生支援機構

特任准教授 挨拶 鴨谷 香

平素より、学生の就職支援に格別のお力添えを賜り、心より感謝申し上げます。令和8年4月に経済学部・経済学研究科の就職支援担当教員として着任しました鴨谷と申します。データサイエンス学部・研究科を担当する入江とともに、就職支援室における個人相談や小規模講座を通じて、学生のキャリア形成を支援する教育・研究を担当いたします。このような機会をいただきました



で、着任1か月の就職支援室レポートと、今後の抱負を述べさせていただきます。

4月から5月は、昨今の卒業就職活動において最も重要な時期の一つです。民間企業への就職を希望する学生にとっては、内定の有無という現実と向き合う時期であり、公務員を志す学生にとっては、大切な試験に臨む時期でもあります。就職支援室では、この1か月でのべ60名の経済学部生・経済学研究科生の個人相談を実施しました。

相談者の約6割は4回生です。「面接で思うように話せない」「希望していた会社で働くのは難しそうだ」「内定をいただいた二つの会社のどちらを選ぶべきか悩む」など、

これまでの自らの行動を振り返りながら、具体的な対策を考える時間になることが多くあります。残りの約4割は3回生です。「就職活動を始めようと思うが、何から取りかかるべきか」「夏のインターンシップはどこに行けばよいか考えたい」など、これからの就職活動の戦略を相談する学生が多い印象です。

現段階で業務を通じて私が感じているのは、相談に来る学生には、芯があり、真面目で、こちらの問いに真摯に答えようとする姿勢と力がある人が多いということです。私はこれまで10を超える大学で17年ほど学生のキャリア支援に携わってきましたが、滋賀大学にはそのような学生の割合が高いと実感しています。

相談の中で私が「それは本当?」「あなた自身はどう考えているの?」と問いかけると、学生たちは簡単に問いを手放しません。「本当ですね。よく考えなくては」「私の意見はこうです」と、迷いながらも精一杯応えようとします。その姿を、とても頼もしく感じています。

また、「今後はこのような行動をすると効果的です」と伝えると、次回の予約を取り、その行動を実践した結果と自分の考えを報告してくれる学生もおります。これは支援者として、たいへんうれしい瞬間です。

世界情勢の不安定化、AI等の技術革新による業界や仕事の変化、働き方改革やワーク・ライフ・バランスをめぐる労働環境の変化など、現代における職業選択は年々複雑になっていきます。膨大な情報の中で、学生たちは何を選び、何を捨てるのかという選択を迫られ、社会人としての一歩を踏み出すために試行錯誤しています。

そのような中で、信頼できる情報の一つとして、卒業生の皆様との縁があると実感しています。この1か月ですでに3名の卒業生の方と目にかかり、学生への想いをお聞きする機会がありました。皆様が滋賀大学への愛情と誇りを持っておられ、それが脈々と受け継がれていることを感じました。活躍する卒業生が在学生にくださるご縁は、インターネットでは得られない特別なも

のです。

私は、就職活動を長い人生における一つの転機であると捉えています。その転機を乗り越えるプロセスで成長できること、そしてその成長を自分自身で意味づけられることが大切だと考えています。

滋賀大学には、後援会の皆様と大学との間に、すでに多くの素晴らしい取り組みと信頼関係があります。後援会から頂いているご意見や様々な支援は学生の就職活動をしっかりと支えて下さっています。そして伝統と卒業生からのご縁という強みもあります。学生には、これらを活かしてキャリアを自ら選択する力をぜひ身につけてほしい。そのために、支援室でできることを一つひとつ提案し、実践して参ります。今後とも、皆様のご支援ご厚情を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 就職状況

令和7年度はオンラインツールを使用することで効果的、効率的な採

用活動ができるということで、オンライン説明会、オンライン面接がその主となっております。最終面接だけ対面で実施される傾向です。学生が提出するエントリーシートにおいては生成AIを使用して作成するということが当たり前となっております。積極的な使用を呼び掛けております。一方で企業側も一次面接はオンラインでのAI面接というところも増えて参りました。面接官のブレがなく安定した質疑応答ができるということとその品質に大きな問題はありません。今後導入する企業は増えてくると思われまます。ただどのような手段で選考が為されましても優秀な学生が高い成果を出すということには変わりないものがあります。

### 【データサイエンス学部生の活動】

データサイエンス学部生に対する求人はデータ分析専門企業、製造業、情報IT業、通信インフラ業など様々な業界から様々な職種で頂いています。学生も技術系専門職を目指す者、技術系総合職を目指す者、事務系総合職を目指す者と多種多様です。しかし、まだまだ多くの企業

では「データサイエンスって何？」「データサイエンスとはどんな学問なの？」と聞かれることがあります。継続してデータサイエンスとはどのような学問なのか、どのような領域で貢献できるのか、を大学側から発信し続けることが重要であることを再認識しております。これらの活動によりさらに多くの企業から求人頂くことができると考えます。

ただ生成AIの普及により圧倒的な売り手市場ではない気配であることも付け加えておきます。

### 【経済学部生の活動】

依然としてIT業界を志す学生が多くなっておりますが、これらの学生が二極化しており、その領域を学んでいく学生と、ただ単に憧れだけで希望する学生に分かれます。データサイエンス学科科目を副専攻とし、統計検定2級を取得する経済学部生は更に増加傾向にあり、また経済学部卒業後にデータサイエンス研究科に進学を考える学生もおります。これらの学生以外に、全国転勤をもとめず金融機関全国総合職を目指す者、国家の中心で働くため

に国家公務員総合職を目指す者、地元に戻り地域創生に関わりたいたいという者、など様々です。これを多様化という安易な言葉で表現するのは不適當で、学生個々が自分自身のキャリアを真剣に考えて家族と腹を割って話し合い、自らの進路を自らの意志で決めていく、そんな状況にあるように感じます。

### 【最後に】

生成AIの登場で様々な物事が様変わりしております。本学学生においても全ての学生がAIリテラシーを身に付け、これらの新たな環境に振り回されるのではなく、主体的にこれらを活用し新たな場面を作り出していく、そんな時代の流れではないかと思われまます。このような激しい外部環境の変化を正確にタイムリーにキャッチすることで世の中のフロントランナーとしての役割を果たすことができるのではないかと考えます。引き続き皆様方のご支援ご厚情を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

○就職先内訳(産業別・業種別)

Table with 4 columns: 会社名, 計, 男, 女. Lists various companies and their employee counts by gender.

Table with 4 columns: 会社名, 計, 男, 女. Lists various companies and their employee counts by gender.

令和7年度就職状況【経済学部】

Table showing job status by category (進学者, 就職者, その他) and gender (計, 男子, 女子).

進学先・就職先一覧【経済学部】

Table listing advanced study institutions (進学先) and their counts by gender.

○就職先内訳(産業別・業種別)

Table with 4 columns: 進学先, 計, 男, 女. Lists various industries and their employee counts by gender.

会社名	計	男	女
13 ミツウ電機工業㈱	1	1	
はん用・業務用製造			
14 ㈱IHI	3	2	1
電子部品等製造			
15 京セラ㈱	1	1	
16 ㈱フジワーク	1		1
17 ㈱村田製作所	2	2	
電気・情報通信製造			
18 日本電気㈱	1	1	
19 ㈱日立製作所	1	1	
輸送用機械製造			
20 ダイハツ工業㈱	2	2	
光熱水業			
21 中部電力パワーグリッド㈱	1	1	
情報通信業			
22 旭情報サービス㈱	1		1
23 伊藤忠テクノソリューションズ㈱	1	1	
24 ㈱インテック	1		1
25 ㈱インテリジェントウェイブ	1	1	
26 ㈱内田洋行ITソリューションズ	1	1	
27 NECソリューションイノベータ㈱	1	1	
28 MUS情報システム㈱	1	1	
29 ㈱キャピタル・アセット・プランニング	1	1	
30 ㈱クエスト	1	1	
31 ㈱システムリサーチ	1	1	
32 ㈱SHIFT	1	1	
33 Sky㈱	1	1	
34 ㈱ゼンリン	1	1	
35 東芝デジタルエンジニアリング㈱	1	1	
36 日本電子計算㈱	1		1
37 日本ビジネスシステムズ㈱	1	1	
38 ㈱日立医薬情報ソリューションズ	1	1	
39 ベース㈱	1	1	
40 三井住友トラスト・システム&サービス㈱	1		1
41 三菱総研DCS㈱	2	2	
運輸業・郵便業			
42 大阪市高速電気軌道㈱	1	1	
43 西日本旅客鉄道㈱	1		1
44 ㈱阪急阪神エクスプレス	1	1	
小売業			
45 ㈱ゲオホールディングス	1	1	
46 ㈱阪急阪神百貨店	1	1	
47 ㈱MonotaRO	1	1	
金融（銀行）			
48 ㈱京都銀行	5	3	2
49 ㈱北陸銀行	1	1	
50 ㈱三菱UFJ銀行	1	1	
金融（その他）			
51 トヨタファイナンス㈱	1	1	
52 三井住友カード㈱	2	2	
不動産・賃貸業			
53 ランドプロモーション㈱	1	1	
その他専門・技術			
54 ㈱ADKホールディングス	1	1	
55 トランスコスモス㈱	1		1
56 ㈱分析屋	1	1	
その他サービス			
57 ㈱東洋信号通信社	1	1	
58 ㈱メイテックフィルダーズ	1	1	
59 ㈱横浜DeNAベイスターズ	1		1
60 ㈱リクルート	1	1	
61 ㈱リゾーム	1	1	
地方公務			
62 大阪府庁	1	1	
63 滋賀県庁	1		1

会社名	計	男	女
306 ㈱アカシック	1	1	
307 アドバンストジャパン㈱	1	1	
308 ㈱APパートナーズ	1	1	
309 ㈱LDH JAPAN	1	1	
310 関西エアポートオペレーションサービス㈱	1	1	
311 ㈱クリック・アンド・リバー社	1	1	
312 ㈱サニックスホールディングス	1	1	
313 辻・本郷税理士法人	1	1	
314 日総工産㈱	1	1	
315 ㈱ビジョン・コンサルティング	1	1	
316 FIDIA SOLUTIONS㈱	1	1	
317 フォースタートアップス㈱	1	1	
318 port㈱	1	1	
319 ㈱メンバーズ	1	1	
320 レパレージズ㈱	1	1	
321 ㈱ワールドコーポレーション	1	1	
国家公務			
322 愛知労働局	1	1	
323 厚生労働省	2	2	
324 神戸地方検察庁	1	1	
325 滋賀労働局	1	1	
地方公務			
326 愛知県庁	2	2	
327 飯田市役所	1	1	
328 池田町役場	1	1	
329 稲沢市役所	1	1	
330 近江八幡市役所	1	1	
331 大坂市役所	1	1	
332 大阪府庁	1	1	
333 小野市役所	1	1	
334 蒲郡市役所	1	1	
335 岐阜県警察	1	1	
336 岐阜市役所	1	1	
337 京都市役所	1	1	
338 京都府警察	1	1	
339 草津市役所	1	1	
340 熊取町役場	1	1	
341 滋賀県庁	3	2	1
342 高槻市役所	1	1	
343 長浜市役所	1	1	
344 東近江市役所	1	1	
345 広島県教育委員会	1	1	
346 福井県警察	1	1	
347 野洲市役所	1	1	
348 和歌山市役所	1	1	

### 令和7年度就職状況 【データサイエンス学部】

○進路別内訳 令和8年5月1日現在

	計	男子	女子
卒業生	94	77	17
進学者			
大学院	24	22	2
大学学部等	0	0	0
専修学校等	0	0	0
就職者			
企業就職	66	53	13
公務員	2	1	1
その他	2	1	1

### 進学先・就職先一覧 【データサイエンス学部】

○進学先内訳

進学先	計	男	女
大学院 進学			
1 滋賀大学大学院 データサイエンス研究科	20	19	1
2 東京科学大学情報理工学院 情報工学系知能情報コース	1	1	
3 名古屋大学大学院 環境学研究科都市環境学専攻	1	1	
4 奈良先端科学技術大学院 大学情報科学領域	1	1	
5 北陸先端科学技術大学院大学 知識科学	1	1	

○就職先内訳（産業別・業種別）

会社名	計	男	女
建設業			
6 一圓テクノス㈱	1	1	
7 佐藤工業㈱	1	1	
食料・飲料等製造			
8 サッポロビール㈱	1	1	
9 サントリーホールディングス㈱	1	1	
10 日清食品ホールディングス㈱	1	1	
化学・石油等製品製造			
11 ロート製薬㈱	1	1	
鉄鋼・非鉄金属等製造			
12 ㈱SUMCO	1	1	

会社名	計	男	女
金融（協同組織）			
230 愛知県信用農業協同組合連合会	1	1	
231 金沢信用金庫	1	1	
232 京都信用金庫	1	1	
233 瀬戸信用金庫	1	1	
234 福井信用金庫	1	1	
金融（証券）			
235 SMBC日興証券㈱	2	2	
236 大和証券㈱	3	2	1
237 東海東京フィナンシャル・ホールディングス㈱	1	1	
238 丸三証券㈱	1	1	
239 みずほ証券㈱	1	1	
240 三菱UFJモルガン・スタンレー証券㈱	1	1	
金融（その他）			
241 地方公共団体金融機構	1	1	
242 ㈱ドコモ・ファイナンス	1	1	
243 ビーエムジー㈱	1	1	
244 プレミアグループ㈱	1	1	
245 三井住友トラストTAソリューション㈱	1	1	
246 三井住友トラスト・バネソニックファイナンス㈱	1	1	
247 三菱HCキャピタル㈱	2	1	1
保険業			
248 あいおいニッセイ同和損害保険㈱	3	3	
249 ㈱かんぽ生命保険	2	2	
250 住友生命保険(相)	3	1	2
251 ソニー生命保険㈱	1	1	
252 東京海上日動火災保険㈱	3	3	
253 日本生命保険(相)	3		3
254 富国生命保険(相)	1	1	
255 ほけんの窓口グループ㈱	1	1	
256 明治安田生命保険(相)	1	1	
不動産・賃貸業			
257 ㈱AlbaLink	1	1	
258 イオンモール㈱	2	2	
259 ㈱エスコ	1	1	
260 京阪電鉄不動産㈱	1	1	
261 東急リバブル㈱	1	1	
262 野村不動産ソリューションズ㈱	1	1	
263 ㈱ポルテックス	1	1	
264 三井不動産リアルティ㈱	1	1	
265 ㈱ルミネ	1	1	
物品賃貸業			
266 住友三井オートサービス㈱	1	1	
学術・開発研究			
267 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)	1	1	
その他専門・技術			
268 アクセンチュア㈱	2	1	1
269 AKKODIコンサルティング㈱	1	1	
270 EY新日本有限責任監査法人 広島事務所	1	1	
271 ㈱ウルフバック	1	1	
272 ㈱エイエイビー	1	1	
273 ㈱met	1	1	
274 ㈱ONE	1	1	
275 監査法人やまがき	1	1	
276 キャップジェミニ㈱	1	1	
277 税理士法人日本経営	1	1	
278 ㈱帝国データバンク	1	1	
279 日本ビジネスアート㈱	1	1	
280 PwC Japan有限責任監査法人	1	1	
281 ㈱PrivateBANK	1	1	
282 ㈱プロレド・パートナーズ	1	1	
283 前田会計事務所	1	1	
284 ミネルバ税理士法人	1	1	
285 有限責任あずさ監査法人	2	1	1
286 有限責任監査法人トーマツ	1	1	
287 ロングブラックパートナーズ㈱	1	1	
宿泊・飲食			
288 ㈱Go on	1	1	
289 スターバックス コーヒー ジャパン㈱	1	1	
生活関連サービス			
290 ㈱エスクリ	1	1	
291 ㈱クラブツーリズム	1	1	
292 KNT-CIホールディングス㈱	1	1	
293 ㈱JTB	1	1	
294 四季㈱（劇団四季）	1	1	
295 ㈱バンクネットサービス	1	1	
296 ビアバンクグループ	1	1	
297 ㈱ベストフライダル	1	1	
学校教育			
298 愛知国際学院	1	1	
299 (国)滋賀大学	1	1	
その他教育			
300 ㈱スプリックス	1	1	
301 ㈱成基	1	1	
医療・保健			
302 (独)国立病院機構	1	1	
303 (独)地域医療機能推進機構	1	1	
複合サービス			
304 京都中央農業協同組合	1	1	
305 全国農業協同組合連合会 京都府本部	1	1	
その他サービス			

後援会資格取得等報奨  
制度について

「滋賀大学経済学部・データサイエンス学部後援会資格取得等報奨制度」は、スポーツ・文化活動、勉強等で顕著な功績を残した個人、若しくは団体を報奨することにより、学生諸君の日頃の勉学等を支援し、資質の向上に資することを目的に、平成26年度から開始した制度です。

下表に記載しているサポート対象基準を満たすことにより、その功績をたたえ報奨金を給付するもので、報奨された学生からは「更なるステップアップのための資金」として、「等」との頼もしい発言もあり、今後も、多くの学生諸君からの応募を期待しております。

学生諸君には、別途、学内においてお知らせしていますが、保護者の方におかれましても、ぜひ本制度をお子様にお伝えいただきたく存じます。

今後も、より良き制度に改善して行きたく、会員の皆さまからのご意見等をお待ちしております。

【お問い合わせ】

滋賀大学経済学部・データサイエンス学部共通事務部総務・企画係

TEL 0749-27-1030

令和8年度 滋賀大学経済学部・データサイエンス学部後援会資格取得等報奨金申請要項

滋賀大学経済学部・データサイエンス学部後援会（以下「後援会」という。）では、在籍する学生の勉学等を支援するため、後援会資格取得等報奨制度に基づき、在籍期間中に後援会が定める基準を満たした者に対して、報奨金を給付します。申請手続等は、次のとおりです。

1. 対象者

経済学部、データサイエンス学部及び経済学研究科、データサイエンス研究科の正規の課程に在籍する学生で（休学中を含む。）在籍期間中に、後援会が定める基準を満たした者  
ただし、後援会費を入学年度の9月末日（秋学期入学の場合は、入学年度の12月末日）までに納入していない場合は対象としません。

2. 申請基準等

以下のとおりとします。ただし、報奨額については、年度毎の申請者総数に基づき、以下に示す報奨額を上限とし予算の範囲内において決定しますので、減額する場合があります。

単位：円

分類	サポート対象事項	基準	報奨額 (上限)
資格・認定試験	1.日商簿記検定試験	「1級」合格者	70,000
	2.税理士試験 (申請は、基準①、②のいずれか1回に限る。)	①会計学に属する科目の中から、いずれか1科目合格者	30,000
		2科目同時合格者	50,000
	3.公認会計士試験	②税法に属する科目の中から、いずれか1科目合格者	40,000
		「短答式試験」合格者	50,000
	4.中小企業診断士	「論文式試験」合格者	100,000
		資格取得者	50,000
	5.証券アナリスト試験	「第1次レベル試験」合格者	30,000
		「第2次レベル試験」合格者	40,000
6.応用情報技術者試験	合格者	30,000	
7.情報処理技術者資格(高度試験)	下記の9区分からいずれか1科目合格者	50,000	
8.品質管理検定	「1級」合格者	50,000	
9.統計検定	「1級」の「統計数理」、「統計応用」いずれか1科目合格者	50,000	
	「1級」2科目合格者	20,000	
	「準1級」合格者	30,000	
語学試験	10.TOEIC (公開テスト) (原則として、編入学試験での入学者及び外国人留学生は除く。)	800点以上	30,000
		900点以上	50,000
		ドイツ語技能検定2級以上	30,000
	11.英語以外の外国語検定試験 (右記の各検定試験を対象とする。)	実用フランス語技能検定2級以上	30,000
		中国語検定2級以上	30,000
		漢語水平考試 (HSK) 5級以上	30,000
		スペイン語技能検定2級以上	30,000
		スペイン語検定 (DELE) B1以上	30,000
		韓国語能力試験 (TOPIK) 4級以上	30,000
		ハングル能力検定試験準2級以上	30,000
		韓国語能力評価試験 (KLAT) 4級以上	30,000
		ロシア語能力検定試験2級以上	30,000
		ロシア語検定試験 (ТРКИ) 第1レベル以上	30,000
留学	12. 本学交換留学制度に基づく海外留学 (平成31年4月1日以降出発の陵水会「グローバルリーダー育成」陵水奨学金受給者は除く。)	アジア圏	40,000
	その他	その他	80,000
その他	13. スポーツ・文化活動、勉学等で顕著な功績を残した個人、若しくは団体、又は、上記1～12に相当すると思われる事項	申請に基づき、後援会役員会で審査のうえ、決定する。	

3. 注意事項

- 報奨の対象は、平成26年4月1日以降に基準を満たしたものである。
- 「資格試験・認定試験」については、同一基準での申請は、学部及び大学院在籍期間中を通じ、1回限りとする。ただし、税理士試験については、基準①、②のいずれか1回限りとする。
- 「語学試験」については、同一言語での申請は、学部及び大学院在籍期間中を通じ、1回限りとする。また試験言語を、母語とする者は申請できない。
- 編入学試験で入学した者及び外国人留学生が、語学試験で申請する場合は、学務課教務係まで事前に問い合わせること。
- 「本学交換留学制度に基づく海外留学」については、滋賀大学経済学部学術後援基金助成金受給者及び(独)日本学生支援機構の海外留学支援制度(協定派遣)奨学金受給者で受給期間が3月を超える者は申請できない。
- 「その他」の資格申請の基準については、2次レベル試験合格者とし、報奨額は50,000円とする。
- 「統計検定準1級」については、1級取得報奨金支給済の場合は申請できない。
- 「その他」で「全経簿記能力検定試験上級」を申請する場合、「日商簿記検定試験」と重ねて申請はできない。また、双方合格の場合でも支給額は上限70,000円とする。
- 「情報処理技術者資格(高度試験)」の対象資格は左下の表のとおり。申請はそれぞれ1つのみできるものとする。

ITストラテジスト試験	システムアーキテクト試験	プロジェクトマネージャ試験
ネットワークスペシャリスト試験	データベーススペシャリスト試験	エンベデッドシステムスペシャリスト試験
ITサービスマネージャ試験	システム監査技術者試験	情報処理安全確保支援士試験

## 会計スペシャリスト 育成支援制度 受給者の声

本制度は、令和6年度から新たに開始された制度です。将来の進路として税理士又は公認会計士の資格を有する高度専門職業人（会計スペシャリスト）を目指す意欲のある学生を対象に専門学校、資格取得の専門学校等での税理士又は公認会計士の資格対策講座の受講（ダブルスクール）に要する経費を援助します。

本制度を利用し、公認会計士試験論文式・短答式に合格された方々から会計スペシャリストを目指す皆様へのコメントを頂戴いたしました。

皆様が切磋琢磨し、将来の夢を実現するための一助となることを期待しています。

なお、今年度から本制度は会計スペシャリスト受験支援制度として再

スタートしました。詳細については、後援会HPからご確認ください。

（QRコードは編集後記に記載）

- ① 取得を目指す資格
- ② 令和7年度の取組や進捗状況
- ③ 現時点での進路希望
- ④ 次年度に向けた学習計画と見通し
- ⑤ 支援制度を利用した感想

### 『①公認会計士志望』

経済学部 4 回生 岡本 広大



式試験を受験し、無事に合格することができました。学習にあたっては、闇雲に勉強を増やすのではなく、重要度を意識した効率的な学習を徹底しました。模試などの客観的な成績を基に自身の立ち位置を分析し、その結果を踏まえて学習内容を適宜見直すことで、常に改善を図ってきました。また、学習を進めるにつれ間違

えやすいポイントが明確になってきたため、それらをノートに整理し、次の模試では同じ間違えを繰り返さないよう工夫しました。しかし、模試の成績が思うように伸びず、自身の学習方法が本当に正しいのか不安を感じる時期もありました。特に計算科目では失点を重ね、その原因を客観的に分析した結果、基礎的な知識が十分に定着していないことに気づきました。そこで私は、これまでの学習方法を一度立ち止まって見直し、講義を一から受け直すことで基本的な考え方を再確認し、基礎知識の定着を最優先とする学習へと切り替えました。また、不安を感じた際には予備校の講師や友人に積極的に相談し、自身に合った学習方法を柔軟に取り入れていきました。その結果、計算科目での失点は大幅に減少し、最終的には得意科目とすることができました。日々の学習と並行して、自身の現状を客観的に分析し、課題に応じて学習方法を改善し続けたことが、今回の合格につながったと考えております。

③ 今後の進路といたしましては、監査法人に勤務し、監査実務の経験を積んでいきたいと思っております。監査の基本をこの実務経験を通じて学び、将来的には海外で活躍できる会計士になりたいと考えています。また、私が公認会計士としてキャリアを歩むなかで大切にしたいのは「信頼される公認会計士」であることです。専門家としての責任感を持ちながら、クライアントから信頼され、ひいては社会全体に貢献できる人材となれるよう尽力してまいります。

④ 監査法人に勤務し、実務経験を積んでいきたいと考えています。

⑤ この度は、多大なるご支援を賜りありがとうございます。今後は、監査実務を通じて専門性と実践力を一層高め、公認会計士として社会から信頼される存在となれるよう、努力を積み重ねてまいります。本奨学金のご支援を糧に、将来は社会に貢献できる人材へと成長していく所存です。

## 『①公認会計士志望』

経済学部 4回生 山内 聖太



②今年度になってからは部活動を引退したため、時間に余裕が生まれ多くの時間を資格取得に向けた勉強に費やすことができた。基本的に平日は、大学の自習室や図書室で勉強し、休日は、同じ資格を志す友人と彦根市内の自習室で朝から夕方まで勉強した。そのため、今年度の印象として勉強がほとんどを占めているというあまり面白くない1年になったが、資格取得に向けて充実した1年になったと感じている。

資格取得の状況としては、6月に日商簿記検定1級に受験した。この資格は、公認会計士試験の内容とほとんど被っているため、現時点の学力の確認や自信をつけていくために受験した。結果としては、各大問で大きく点数を落とすことなく89点で合格をすることができた。今まで資格試験に合格するという経験がなかったため合格できてともうれしかった。

次に、12月に公認会計士短答式

試験を受験した。この試験に受かることが今年度の最大の目標であり、5月の試験では不合格だったため必ず受かりたいと準備をしてきた。結果としては、得点比率86.4%であり、現時点では、まだ合否は判明していないが予備校の予測によれば合格していると思われる。正直、この試験に合格するまでに苦しいことが何回もあり、何度も挫折しそうになったが、家族、友人の支えや後援会のみなさんからの支援もあってここまで続けられてきたと感じている。

今年度の進捗状況は以上であるが、次年度の8月には公認会計士論文試験があるため、次はそこに向けて周りからの支援に対する感謝を忘れずこれからも努力を積み重ねていきたい。

③来年度の4月からは、北海道大学の会計専門職課程に進学が決まっている。大学院では、会計についてさらに深く学んで知見を深めていく一方で、公認会計士となった際に実務で活用できるような専門性を高める修士課程を過ごしたいと考えている。

④次年度の8月には公認会計士論文

試験を受験した。この試験に受かることが今年度の最大の目標であり、5月の試験では不合格だったため必ず受かりたいと準備をしてきた。結果としては、得点比率86.4%であり、現時点では、まだ合否は判明していないが予備校の予測によれば合格していると思われる。正直、この試験に合格するまでに苦しいことが何回もあり、何度も挫折しそうになったが、家族、友人の支えや後援会のみなさんからの支援もあってここまで続けられてきたと感じている。

⑤今回は、後援会の皆様からこのような多大な支援をしていただき本当にありがとうございます。感謝の気持ちと共に資格取得に向けた意欲がさらに引き締まりました。次年度の論文式試験に必ず合格し、良い報告ができるよう一生懸命努力を積み重ねていきたいと思えます。

学習の進捗としては、各科目一通りのインプットを終え、問題演習に取り組める段階まで到達しました。しかし、答練や模擬試験に取り組む中で、応用力や時間配分に課題があることに気が付きました。特に本番を想定した演習が十分にできておらず、知識を得点につなげる力を身に付けることができなかつたと感じています。

令和7年度の短答式試験で合格することはできませんでしたが、自身の実力不足や課題を明確に認識する貴重な機会となりました。特に、理解が不十分な論点の洗い出しや、ア

## 『①公認会計士志望』

経済学部 4回生 米澤 咲良



②令和7年度の資格取得に向けて、計画的かつ継続的な学習に取り組ん



です。資格試験の勉強は、1月から

本格的に開始したため、短期間での記憶を定着させる必要があります。計算方法の学習については、専門学校で学んだ論点を、その日のうちに理解することを大切にしていました。今年度受験した科目は、理論の暗記がなく、計算問題のみに絞られていたため、理解↓問題演習↓間違えた論点を復習↓再度問題演習をするという学習を繰り返していました。

また6月以降は、専門学校での学習が模試中心となりました。目標点数に届かないことも何度もありましたが、満点を取れるようになるまで繰り返し演習を重ねました。模試を受けることで自分の苦手な項目を把握でき、効率的に勉強することを常に意識しました。

今年の試験では会計科目である簿記論のみを受験しましたが、無事に合格することができました。この結果を受け、現在はもう一つの会計科目である財務諸表論を学習しています。自己採点の時点ではボーダーラインだったため、来年度の受験計画を明確に立てることができません

来年度の受験では、次年度の受験に影響を残さないために、確実に合格できる点数を取得し、できるだけ早く5科目合格を達成したいと考えています。

③現在の進路希望は、これまでと同様、税理士として税理士法人に就職し、主に中小企業を顧客とした税務・会計サービスを提供することです。中小企業の経営を税務・会計の側面から支えることは、地域経済の発展にも寄与できるという点で、大きな意義と責任を感じることができると考えています。

④次年度の資格試験に向けて、今年度の9月より残りの会計科目の学習を開始しました。現在は、大学の秋学期の期末試験が終わり次第、税法科目の学習も開始するか検討しています。早い段階で税法科目の内容を把握し、難易度を理解することで、結果的に早期の資格取得達成に繋がると考えています。

⑤この度は、税理士資格取得に際して、会計スペシャリスト育成支援制度として支援金をご支給いただき、誠にありがとうございます。今回の

ご支援を励みに、今後も学業および自己研鑽に一層精進してまいります。



この制度は、将来の進路として税理士又は公認会計士の資格を有する高度専門職業人（会計スペシャリスト）を目指す意欲のある学生を対象に、受験料を補助する制度です。

資格取得等報奨制度とは異なり、会計スペシャリストを目指して強い学習意欲を持ち、学習計画を立てて受験に取り組む方を応援するという趣旨です。

本制度を利用した皆さんが切磋琢磨し、将来の夢を実現するための一助となることを期待しています。

対象者、申請期間、申請方法などの詳細は、HPをご確認ください。



令和7年度 経済学部・データサイエンス学部後援会 収支計算書

令和8年3月31日

収 入		支 出	
前年度繰越額	11,596,830	支払済額	18,109,767
会費	15,625,000		
利息	34,808	次年度繰越金	9,146,871
合 計	27,256,638	合 計	27,256,638

【会費収入内訳】

学部学生	568名 × @25,000円	=	14,200,000円
編入生等	30名 × @12,500円	=	375,000円
大学院(前)	73名 × @12,500円	=	912,500円
大学院(後)	6名 × @18,750円	=	112,500円
大学院(1年)	4名 × @6,250円	=	25,000円
	計		15,625,000円

(単位:円)

科	目	補正後予算	支出額	差引残額	備考
①厚生体育費補助	学生行事補助	700,000	630,000	70,000	運動大会補助、学長表彰副賞、祝賀会等
	体育大会補助	1,600,000	1,572,000	28,000	滋和戦、体育関係各種大会費補助等
	部活動補助	950,000	948,180	1,820	体育系課外物品援助
	小 計	3,250,000	3,150,180	99,820	
②文化活動費補助	学生行事補助	650,000	650,000	0	開学祭、滋大祭等補助
	部活動補助	750,000	352,900	397,100	文化系課外物品等援助、 学外施設使用料援助
	小 計	1,400,000	1,002,900	397,100	
③学務・学生支援関係補助		1,700,000	732,917	967,083	学務関係諸経費補助、成績等送付経費、 学生福利設備補助(ウォーターサーバー等)
④図書充実費		650,000	649,998	2	図書購入費
⑤体育充実費		500,000	377,304	122,696	ゴルフ実習費、スキー教室経費、 運動施設整備費等
⑥就職補助費		1,600,000	1,688,859	-88,859	SPI対策講座補助、就活関連図書購入等
⑦団体分担金		60,000	18,660	41,340	会費、学会開催経費
⑧研究所等補助	研究所	340,000	340,000	0	資料購入・運営費等補助
	史料館	70,000	70,000	0	資料購入・運営費等補助
	DS・AI研究推進ワカ-	70,000	70,000	0	資料購入・運営費等補助
	小 計	480,000	480,000	0	
⑨入学式・卒業式 ・役員会経費	入学式	40,000	17,000	23,000	入学式・後援会説明会経費
	卒業式	10,000	0	10,000	卒業式経費補助
	役員会	400,000	403,096	-3,096	役員会会議費、交通費、その他諸経費
	小 計	450,000	420,096	29,904	
⑩広報費		170,000	58,827	111,173	機関誌広告掲載料・後援会ちらし製作費、 案内はがき・送料、封筒印刷費
⑪渉外費	学部渉外費	450,000	392,344	57,656	オフ・パブリケーション関係、 学部運営費・教員面接交通費補助等
⑫総務費	庶務費・雑費	70,000	25,436	44,564	消耗品、通信費、切手代等
⑬人件費		1,000,220	1,000,220	0	後援会事務局担当の 事務補佐員の人件費補助(前年度分は予備費)
⑭資格取得等報奨金		3,400,000	3,803,440	-403,440	資格取得等報奨金、 振込手数料
⑮会計スペシャリスト育成		502,200	501,980	220	会計スペシャリスト育成経費
⑯情報教育充実費		913,026	913,026	0	学生用セキュリティソフト等
⑰滋賀大学基金		0	0	0	旧・外国人留学生援助金
⑱繰越金活用事業		4,000,000	2,681,260	1,318,740	シリコンバレー研修、タイ・スタディツアー 研修、生協食事補助等
<b>計</b>		<b>20,595,446</b>	<b>17,897,447</b>	<b>2,697,999</b>	
⑲学部記念事業援助費積立		0	0	0	「事業準備費」に繰入 (残額を勘案し令和7年度は計上なし)
⑳会議準備費積立		0	0	0	「会議準備費」に繰入 (令和7年度は計上なし)
㉑予備費		6,661,192	212,320	6,448,872	退学・除籍者への会費返還
<b>合 計</b>		<b>27,256,638</b>	<b>18,109,767</b>	<b>9,146,871</b>	

令和7年度 事業準備費 収支計算書

(単位:円)

収 入	支 出
前年度繰越額	6,615,354
受入	0
利息8月分	5,219
利息2月分	5,975
合 計	6,626,548

令和7年度 会議準備費 収支計算書

(単位:円)

収 入	支 出
前年度繰越額	1,178,263
受入	0
利息8月分	929
利息2月分	1,064
合 計	1,180,256

## 令和8年度 経済学部・データサイエンス学部後援会予算

## 収 入

(単位:円)

科目	予算額	備考
前年度繰越額	9,146,871	
会費(学部生)	14,575,000	583名×@25,000
会費(大学院生・前期)	1,162,500	93名×@12,500
会費(大学院生・後期)	93,750	5名×@18,750
会費(編入・大学院1年)	293,750	編入生等23名×@12,500、院前ビジネス1名×@6,250
利息(見込み)	20,000	
収入合計	25,291,871	

## 支 出

(単位:円)

科目	予算額	備考
①厚生体育費補助	3,200,000	運動大会補助、大会費補助、体育系課外物品援助
②文化活動費補助	1,150,000	滋大祭等補助、文化系課外物品等援助、学外施設使用料援助
③学務・学生支援関係補助	1,300,000	学務関係諸経費補助、成績等送付経費、学生福利厚生設備補助等
④図書充実費	650,000	図書購入費
⑤体育充実費	400,000	ゴルフ実習費、スキー教室経費、運動施設整備費等
⑥就職補助費	1,700,000	SPI対策講座、就職指導経費等
⑦団体分担金	40,000	会費、学会開催経費・院生交流会経費補助
⑧研究所補助	480,000	資料購入・運営費等補助
⑨入学式・卒業式・役員経費	625,000	入学式・後援会説明会・卒業式経費、役員会会議費、交通費等
⑩広報費	150,000	後援会だより製作費、案内はがき・送料、封筒印刷費
⑪渉外費	400,000	オープンキャンパス関係、学部運営費、教員面接交通費補助等
⑫総務費	30,000	消耗品、通信費、切手代等
⑬人件費	1,000,220	後援会事務局担当事務補佐員の人件費補助
⑭資格取得等報奨金	3,800,000	資格取得報奨金、振込手数料
⑮会計スペシャリスト育成	300,000	会計スペシャリスト育成経費
⑯情報教育充実費	930,917	学生用セキュリティソフト等
⑰滋賀大学基金	0	旧・外国人留学生援助金
⑱繰越金活用事業	1,300,440	シリコンバレー研修、生協食事補助等
⑲予備費	7,835,294	退学・除籍者への会費返還
支出合計	25,291,871	

## 令和8年度 後援会役員会名簿

役 職	氏 名
会 長	貝 吹 行 則
副会長	戸 谷 田 知 成
副会長	宇 野 孝 志
監 事	中 村 敬 子
監 事	一 井 志 保
幹 事	坂 野 高 志
幹 事	堀 部 千 夏
幹 事	西 尾 貞 司
幹 事	山 之 内 伸 宏
幹 事	石 黒 敬 康
幹 事	嶋 川 昌 典
幹 事	栗 山 智 子
幹 事	梨 木 由 美 子
幹 事	濱 田 美 紀
幹 事	柳 田 沙 織

## 後援会総会

本後援会の通常総会は、令和5年度に規約第14条を改正し、通常総会は毎年5月に開催することに決まり、規約に即して5月の役員会の開催をもって総会に代えることになりました。令和8年5月23日に開催された役員会では4名の新役員が承認をいただいた旨、ご報告申し上げます。

新体制で後援会を益々盛り上げていく所存でございます。皆さま、一年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

なお、役員会の要旨については後援会HPに掲載されていますので、ご覧いただけましたら幸いです。

《お問い合わせ・ご意見・感想等》

滋賀大学 経済学部・データサイエンス学部共通事務部 総務・企画係  
TEL: 0749-27-1030

## 編集後記

後援会だよりは以下のQRコードからでもご覧いただけます。

記事の感想や要望、後援会や経済学部・DS学部に対するご要望、ご意見等をお聞かせください。

(送付先)

滋賀大学 経済学部・DS学部共通事務部総務・企画係

E-mail: ksyomu@biwako.shiga-u.ac.jp



後援会HP

## 令和8年度 学年暦・主要な行事(予定)

## 《春学期》

(注) 変更される場合があります。

月	日(曜日)	授業関係	就職関係	その他
3	6(金)	成績発表(サクセス(Web)で確認)		
4	6(月)	入学式(びわ湖ホール)		新入生オリエンテーション 「キャンパスライフ講習会」
	7(火)	新入生オリエンテーション		新入留学生オリエンテーション
	8(水)	春学期授業開始		
	15(水)			IELTS対策講座開講(~7/22)
	17(金)、20(月)、28(火)		公務員志望者向け就職ガイダンス	
	20(月)、22(水)、23(木)		就職説明会(就活キックオフ宣言) (3回生)【経済学部】	
	21(火)、22(水)		就職説明会(就活キックオフ宣言) (3回生)【データサイエンス学部】	
	21(火)、23(木)			夏休み短期海外研修説明会
	23(木)		第1回就職ガイダンス(3回生)	
29(水)	授業日			
5	7(木)		第2回就職ガイダンス(3回生)	
	7(木)	授業日(月曜日の授業)		
	8(金)	授業日(火曜日の授業)		
	9(土)			新入生歓迎マラソン
	14(木)		第3回就職ガイダンス(3回生)	
	18(月)、19(火)、21(木)			留学説明会(~カモンなのにGO~)
	19(火)~		公務員学内講座	
	23(土)		春インターンシップフェア(3回生)	
	28(木)		第4回就職ガイダンス(3回生)	
	31(日)			開学記念日 滋和2大学学長杯争奪総合定期戦結団式
下旬		彦根キャンパス学内就職セミナー(3回生)		
6	1(月)~(10/31(土)まで)		SPI対策講座(オンライン)	
	4(木)	成績優秀者表彰式		
	11(木)		第5回就職ガイダンス(3回生)	
	13(土)~14(日)			フレッシュマン・キャンプ
	20(土)~21(日)			第59回滋和2大学学長杯争奪総合定期戦
	25(木)		第6回就職ガイダンス(3回生)	
	下旬			滋賀大学グローバルセミナー
7	6(月)、9(木)			滋賀大学グローバルセミナー
	11(土)	補講日		
	中旬		留学生対象就職活動ガイダンス	
	18(土)	補講日		
	27(月)	春学期授業終了		
	28(火)~8/7(金)	春学期試験(予備日を含む)		
8	8(土)~9/30(水)	夏季休業、集中講義		
9	上旬	成績発表(サクセス(Web)で確認)		
	中旬			SFA(学生・教員協議会)

《 秋学期 》

(注) 変更される場合があります。

月	日(曜日)	授業関係	就職関係	その他
10	1(木)	秋学期授業開始		
	8(木)	経済学研究科 博士後期課程D3中間研究報告会		
	上旬			IELTS対策講座開講(~1月下旬)
	中旬			定例学生総会、体育総会、文サ連総会
	中旬			学内ゼミナール大会
	15(木)	経済学研究科 博士後期課程D2研究報告会		
	15(木)	大学院経済学研究科 博士前期課程学位論文中間報告会		
	23(金)	彦根地区キャンパス休講		榎本杯争奪駅伝大会
	24(土)~25(日)			滋大祭
	下旬			滋賀大学グローバルセミナー
11	上旬		陵水会計人会による学生説明会 (1~4回生)	
	中旬			留学説明会(~カモンなのにGO~)
	23(月)	授業日		
	28(土)~29(日)			リーダーズトレーニング
	下旬			滋賀大学グローバルセミナー
12	中旬		留学生対象就職活動ガイダンス	
	19(土)	補講日		
	24(木)	授業日(月曜日の授業)		
	26(土)~1/3(日)	冬季休業、集中講義		
1	4(月)	授業再開		
	15(金)~17(日)	休講及び入構禁止 (大学入学共通テスト準備及びテスト)		
	23(土)	補講日		
	26(火)	秋学期授業終了		
	27(水)~2/8(月)	秋学期試験(予備日を含む)		
	下旬			滋賀大学グローバルセミナー
2	24(水)~26(金)	入構禁止 (前期日程入学試験準備及び試験)		
	下旬			SFA(学生・教員協議会)
3	11(木)~12(金)	入構禁止 (後期日程入学試験準備及び試験)		
	26(金)	卒業式(ひこね市文化プラザ)		卒業祝賀会

これらに関することは、下記までお問い合わせください

○授業・休学・退学に関すること 学務課教務係 0749-27-1031(ダイヤルイン)	○学生生活・クラブ活動等に関すること 学生支援課学生支援係 0749-27-7530(ダイヤルイン)	○就職・進学に関すること 学生支援課就職係 0749-27-1021(ダイヤルイン)	○留学に関すること 国際交流課 0749-27-1430(ダイヤルイン)
学務課大学院係 0749-27-1032(ダイヤルイン)	○授業料免除・奨学金に関すること 学生支援課学生支援係 0749-27-7530(ダイヤルイン)	就職支援室 0749-27-1156(ダイヤルイン)	インクルーシブ学生支援室 0749-27-8166(ダイヤルイン)

その他の情報は  
大学のホームページから

滋賀大学のトップページ  
<https://www.shiga-u.ac.jp/>

メニューバー  
学生生活・就職

◇履修・授業  
◇課外活動  
◇就職・進路支援  
◇奨学金・授業料免除  
◇大学生生活サポート